



さんじょう ひかりしょう
第7回「山上の光賞」

**健康・医療分野で活躍する80歳以上・
35歳以下の方々を顕彰する**

【共催】

一般社団法人 日本病院会 公益社団法人 全日本病院協会

「さんじょう ひかりしょう山上の光賞」について

「山上の光賞」は日本の広範な健康・医療・医学分野において素晴らしい活躍をし、よりよい社会を築くことに貢献している 80 歳以上の方々、そして 35 歳以下の方々の顕彰するプログラムです。少子高齢化社会の日本では、人口構造の変化に関するネガティブな話を多く耳にするようになりました。しかしながら、その対極には日本の高齢者や若者が素晴らしい活躍をしている数多くの偉大なストーリーがあります。そこで、高齢を迎えてなお、その豊富な経験、知性、そして知識を駆使しながら活躍を続けておられる方々や、若年にして様々な業績をあげている期待の精鋭を顕彰することにより、更に多くの日本のシニアを勇気づけ、また若い世代の更なる活躍を触発することをこのプログラムは目指しています。シニア層、若年層という全く異なる世代において、健康・医療・医学分野で活躍し、広く社会に貢献している方々と一緒に顕彰することによって、少子高齢化の只中にある日本の明るい希望に光をあてることを目指しています。

「山上の光賞」では、健康・医療・医学に関する様々な分野を対象とし、例えば、医師、研究者、看護師、介護福祉士、NPO 職員等、健康・医療に関連する広範な分野における 80 歳以上の方々、また 35 歳以下の方々の活動を顕彰致します。このプログラムでは当初 75 歳以上の方々を対象としていましたが、昨今非常に多くの高齢者が現役でご活躍し続けておられることから、第 5 回より 80 歳以上の方々を対象とすることになりました。そして第 6 回からは、35 歳以下の若い世代の方々も対象とすることとなりました。

全国から募集する候補者の選考は、本プログラムの共催団体、事務局からは独立した審査委員会によって厳正に行われます。「山上の光賞」の審査基準は以下の通りです。今回からは「80 歳以上の部」、「35 歳以下の部」に分けて審査が行われます。候補者はこのうちひとつ以上の項目に当てはまることを期待されます。

- 高潔な人格
- 組織における卓越したリーダーシップ
- 特定の領域におけるニーズに応え、健康・医療の促進に大いに貢献する業績を有する
- 医療サービスの提供における大いなる貢献
- 創造力豊かなアイデアで既存のプログラムの大幅な伸展に貢献した実績
- 健康・医療の分野における斬新なアプローチの導入
- 健康・医療に関わる諸分野での研究における飛躍的な成果（ブレイクスルー）
- 公衆衛生の促進への貢献（公的セクター、民間セクター問わず）
- 国際的な貢献

「80 歳以上の部」では、80 歳を超えてなお、現役で活躍しておられる方を対象とします。候補者が 80 歳を迎える以前の業績も考慮しますが、候補者が活動を現役で継続している場合に限り、80 歳を超えてから新たに始めた活動は当然対象とします。

また、本プログラムは「縁の下の力持ち」的で、これまでに相応しい顕彰を受けて来なかった活動に焦点を当てます。ただし、過去に多くの顕彰を受けている活動を排除するものではありません。

候補者の推薦にあたっては、その個人が受賞者に相応しい人物であることを示す客観的な評価等を含め、その理由を、数値などを用いてできるだけ具体的に記載して下さい。なお、推薦者が複数いる場合、2 人目以降については推薦状（様式不問）を添付して頂いても構いません。

顕彰部門：

- 医師部門
- 研究者部門（医学、理工学、薬学、生物学、化学、医療経済学、医療政策研究等を含む健康・医療に関わる広範な分野における研究者）
- 看護・保健部門（看護師、助産師、介護福祉士、セラピスト等を含む）
- NPO・ボランティア部門
- 公衆衛生部門（公的な職責を有する公務員に限らず、民間において様々なかたちで公衆衛生の促進に貢献しておられる方も含む）

「80歳以上の部」、「35歳以下の部」それぞれで上記5部門において候補者の推薦を募集致します。審査委員会では、まず「80歳以上の部」、「35歳以下の部」それぞれにおいて各5部門のトップを決めます。各年齢カテゴリーで最終候補に残った5名の中から受賞に相応しいと思われる上位3名、合計6名に賞が授与されます。従って過去5回のように各部門において少なくとも1名が授与される訳ではありません。

山上の光賞

「80歳以上の部」

- 医師部門
- 研究者部門
- 看護・保健部門
- NPO・ボランティア部門
- 公衆衛生部門

各部門でのトップを決定

この5名の中から受賞に相応しい3名を選定

「35歳以下の部」

- 医師部門
- 研究者部門
- 看護・保健部門
- NPO・ボランティア部門
- 公衆衛生部門

各部門でのトップを決定

この5名の中から受賞に相応しい3名を選定

「80歳以上の部」上位3名、「35歳以下の部」上位3名、合計6名が「山上の光賞」を受賞。

対象： 80歳以上の方、35歳以下の方（2020年12月31日現在）

応募形式： 他者推薦

応募締切： 2021年9月22日（水）

応募方法： E-mail info@sanjo-no-hikari-sho.com

FAX 03-4243-2031

郵便 「山上の光賞」事務局宛

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町 MTビル 14F (株)PRISM 気付

※ 推薦用紙はウェブサイト www.sanjo-no-hikari-sho.com よりダウンロード下さい

※ なるべくデータでお送り下さい

受賞者発表： 2021年11月中旬までに推薦者と受賞者に通知

第7回授賞式： 新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、開催方法、開催時期のいずれも現在のところ未定で、決定次第ご案内申し上げます。

正賞： 記念杯を受賞者本人へ贈呈

第1回受賞者：

医師部門	石川 秀雄	宗像医師会医師
医師部門	石川 育成	岩手県医師会会長
医師部門	河合 忠	有限会社国際臨床病理センター所長
研究者部門	小林 寛伊	東京医療保健大学名誉学長 大学院医療保健学科教授
看護・保健部門	川嶋 みどり	一般社団法人日本で・あーて, TE・ARTE, 推進協会代表理事
NPO・ボランティア部門	迫田 時雄	特定非営利活動法人国際障害者ピアノフェスティバル委員会会長
公衆衛生部門	本間 玲子 True	アライアント国際大学カリフォルニア心理大学校名誉教授

第2回受賞者：

医師部門	椎貝 達夫	椎貝クリニック院長
医師部門	長瀬 清	北海道医師会会長
医師部門	松島 松翠	長野県厚生連佐久総合病院名誉院長
研究者部門	平 則夫	いわき市立総合磐城共立病院病院事業管理者
看護・保健部門	近藤 潤子	天使大学大学院助産研究科特任教授
NPO・ボランティア部門	松村 満美子	NPO 法人腎臓サポート協会理事長
公衆衛生部門	島尾 忠男	公益財団法人結核予防会評議員会会長、顧問

第3回受賞者：

医師部門	伊東 潤造	公益社団法人宮城県医師会顧問
医師部門	高谷 雄三	一般社団法人福島県医師会会長
医師部門	西野 瑞穂	徳島モンゴル医療交流協会理事長、徳島大学名誉教授
研究者部門	黒木 登志夫	日本学術振興会学術システム研究センター顧問
看護・保健部門	坂本 フジエ	一般社団法人和歌山県助産師会
NPO・ボランティア部門	村上 一枝	NPO 法人カラ西アフリカ農村自立協会代表理事
公衆衛生部門	久道 茂	公益財団法人宮城県対がん協会会長

第4回受賞者：

医師部門 (国際)	黒川 清	特定非営利活動法人日本医療政策機構代表理事
医師部門	祖父江 逸郎	公益財団法人長寿科学振興財団理事長
研究者部門	半場 道子	福島県立医科大学医学部整形外科学講座客員講師
看護・保健部門	池田 きぬ	株式会社セントレアいちしの里訪問看護師
看護・保健部門 (国際)	南 裕子	高知県立大学大学院看護学研究科特任教授
NPO・ボランティア部門	大石 由紀子	Oishi サポートセンター代表/Tada パーキング代表取締役
公衆衛生部門	山口 昇	公立みつぎ総合病院名誉院長・特別顧問

第5回受賞者：

医師部門	鬼塚 卓彌	昭和大学名誉教授、特別顧問
医師部門	横山 宏	特定非営利活動法人山梨ホスピス協会理事長
研究者部門	遠藤 正彦	国立大学法人弘前大学大学院医学研究科附属高度先進医学研究センター糖鎖工学講座名誉教授、客員研究員
看護・保健部門	江藤 信子	江藤助産所所長
NPO・ボランティア部門	富安 兆子	高齢社会をよくする北九州女性の会代表
公衆衛生部門	加藤 邦夫	医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 健康管理室医師

第6回受賞者：

医師部門 (80歳以上)	森岡 恭彦	公益社団法人日本医師会前参与
看護・保健部門 (80歳以上)	川村 佐和子	聖隷クリストファー大学看護学部教授
NPO・ボランティア部門 (80歳以上)	中本 忠子	NPO 法人食べて語ろう会理事長
研究者部門 (35歳以下)	高山 和雄	京都大学 iPS 細胞研究所講師
NPO・ボランティア部門 (35歳以下)	江本 駿	NPO 法人 ASrid 研究員
公衆衛生部門 (35歳以下)	鈴木 恵美里	東京医科歯科大学医学部附属病院総合教育研修センター 初期研修医

(受賞時の所属・役職を記載しています。)

《審査委員》（五十音順、敬称略）

安西 祐一郎	独立行政法人日本学術振興会顧問・学術情報分析センター所長
樋口 恵子	NPO 法人高齢社会をよくする女性の会理事長、 東京家政大学名誉教授 同大学女性未来研究所名誉所長
藤崎 一郎	一般社団法人日米協会会長、元駐米大使
古川 貞二郎	恩賜財団母子愛育会会長、元内閣官房副長官、元厚生事務次官
松原 謙二	公益社団法人日本医師会副会長
向井 千秋	東京理科大学特任副学長
矢崎 義雄	東京医科大学理事長

《諮問委員》（五十音順、敬称略）

秋葉 賢也	衆議院議員
あべ 俊子	衆議院議員
石田 祝穂	衆議院議員
大塚 太郎	青梅慶友病院理事長
大塚 義治	日本赤十字社社長、元厚生労働事務次官
河北 博文	公益財団法人日本医療機能評価機構理事長、社会医療法人河北医療財団理事長
幸田 正孝	医療経済研究機構顧問、元厚生事務次官
塩崎 恭久	衆議院議員、元厚生労働大臣
高成田 享	元朝日新聞論説委員
谷合 正明	参議院議員
とかしき なおみ	衆議院議員
中山 泰秀	衆議院議員
坂東 真理子	昭和女子大学理事長・総長
福井 次矢	NPO 法人卒後臨床研修評価機構理事
古川 俊治	参議院議員
古川 元久	衆議院議員、元国家戦略担当大臣
牧山 ひろえ	参議院議員
三ッ林 裕巳	内閣府副大臣、衆議院議員
百村 伸一	さいたま市民医療センター病院長
森口 泰孝	東京理科大学特別顧問、元文部科学事務次官

※各人は必ずしも所属先の代表として「山上の光賞」の審査委員、諮問委員を務める訳ではありません。

さんじょう ひかりしょう
「山上の光賞」事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-20 神谷町 MT ビル 14F (株)PRISM 気付
Tel: 03-5404-3813/Fax: 03-4243-2031
www.sanjo-no-hikari-sho.com e-mail: info@sanjo-no-hikari-sho.com